

令和4年度 第2回越前町地域公共交通活性化協議会

議事録

開催日時：令和4年11月28日(月)

午前10時00分から午前11時30分まで

開催場所：越前町生涯学習センター2階会議室1

●出席者

- ・委員：19名（欠席者2名 吉田委員、森委員）
- ・事務局：4名 杉本総務理事、林企画振興課長、青山主査、畑主事

●議事概要

- ・新委員紹介（京福バス 松田委員）
- ・会長あいさつ

報告事項（1）デマンドタクシー「チョイソコえちぜん」実績報告について

| | |
|------|---|
| | 資料に基づき、事務局説明 |
| 時田委員 | 説明にもあったが、実績として利用件数が695件、登録者数が218人、利用者数が57人をいう理解でよいか。 |
| 事務局 | その通りである。 |
| 時田委員 | この実績は、計画で掲げた目標数と比べてどうか？ |
| 議長 | その辺は後の一次評価のところで詳しく説明があるので、その説明を聞いてからでお願いします。 |
| 時田委員 | 了解した。 |
| 山下委員 | 利用の時間帯はいつが多いか？現在は2台で運行をしているが、今後利用者が増えてきたら台数を増やすのか？ |
| 事務局 | 比較的午前中の利用が多い。現在は、1号車が町から貸与している車両で、2号車は委託業者の車両で対応している。単独の利用が多く、1日あたりの件数も少ない状況。 |
| 吉村委員 | デマンドタクシーの利用が始まり、コミュニティバスに変化はあったか？ |
| 事務局 | 路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーとそれぞれの役割があり、その状況については、後ほど一次評価で説明させていただきたい。 |
| 青山委員 | 地区の人口に対する登録者の割合は分かるか？ |
| 事務局 | 数字を把握していないので、次回に報告させていただきたい。 |
| 西野委員 | 地区別の利用状況は？ |
| 事務局 | 10月末現在で、朝日区域280件、宮崎織田区域で415件である。 |
| 議長 | 利用件数の内訳はわかった。関連して地区別の利用者数は？ |

| | |
|-------|---|
| 事務局 | そちらも併せて、次回に報告させていただきたい。 |
| 議長 | 委員が広報活動を行う上でも重要かと思うので、報告をお願いしたい。 |
| 五十嵐委員 | 予約の方法は電話とネットとあるが、どちらが多いか？また、利用者の声や住民の意見などがあったら教えてほしい。 |
| 事務局 | 利用者のほとんどが70歳以上ということもあり、9割以上は電話予約。 |
| 小柳委員 | この前、織田病院の前で80代の方に「この辺で公衆電話はないか？」と尋ねられた。デマンドタクシーを呼びたいが携帯電話をもっておらず、困っていた様子だったので、私の電話で予約したことがあった。 |
| 事務局 | 一般的には電話で行きと帰りの予約を取る。しかし、用事が早く済んだり、逆に遅れたりすると予約の変更が必要となる。病院の事務員が対応したり、役場に電話が来て、専用番号を案内した事例はある。 |
| 議長 | チョイソコえちぜんの停留所は公共施設のほか、病院やスーパーなどがある。そういう場所をエリアスポンサーとして高齢者の手助けをしてくれるように働きかけ、エリアスポンサーを増やすことが今後重要になってくると思う。 |
| 事務局 | すべての停留所の対応は難しいが、公共施設を中心に電話を持っていない利用者のフォローをしていただけるよう話をしていきたい。 |

協議事項（1）生活交通確保維持改善計画一次評価について

| | |
|------|--|
| | 資料に基づき、事務局説明 |
| 時田委員 | 目標より利用者数が少なく、周知不足の点が大きいのことだが利用者を増やす策として、各種団体向けに無料乗車体験会を開き、その利便性を実感してもらってはどうか。また、今後は団塊の世代が70代に入り、利用者が増えてくると台数が足りなくなる可能性もある。状況を見て、後手に回らないように進めていただきたい。 |
| 事務局 | 現状は、まだまだ利用が少ない状況なので、利用者を増やす企画、働きかけを随時行っていきたい。 |
| 議長 | 便利さを体験するために、体験乗車会をすることも大事だが、利用者が行きたい場所をつくることも重要。また、今は利用者のほとんどが高齢者だが、デマンドタクシーといえば高齢者の乗り物みたいなイメージを作ってはいけない。若者の移住定住や子育て支援としてのデマンドタクシーなど幅広く利用できるよう考えていかなければならない。 |
| 小林委員 | 当初の位置づけで、乗合交通手段として始めているので、便数と利用者数の関係と乗合率みたいな視点も評価に入れた方がよいのではないかと。 また、実績の資料でバスターミナルへの利用が2割あり、そこから路線バス等で広域移動したと考えられるので、ネットワークとしての機能も果たしている。そういう所も評価に加えた方がよいのではないかと。 |
| 議長 | 大変参考になる意見だと思う。事務局一任で修正をお願いしたい。 |
| 仲保委員 | 越前町は観光の町であるが、土日祝日のバスが極端に少ないことが課題。かにシーズンには福井駅から越前海岸へ直行の「かにバス」が走っている。 |

| | |
|-----|---|
| | 観光客向けのバスだということは理解しているが、こういうバスが朝日、織田の拠点によってくれれば地域住民にも便利だと思う。観光と地域交通が手と手を取り合って持続可能な公共交通を作っていけたらと思う。 私たち住民も行政に任せっきりにするのではなく、バスやデマンドタクシーの利用促進のためにできることをやらなければいけないと感じている。 |
| 事務局 | 北陸新幹線敦賀開業も控えており、観光部局とも連携を図り、二次交通の検討をしていきたい。 |
| 議長 | 行政だけではできることに限界がある。民間事業者や交通事業者が公共交通活性化を図るための企画を考えていくことが重要である。 |
| 採 決 | 承認 |

協議事項（２）路線バス「鯖浦線（かれい崎）」、越前町コミュニティバス「環状右回り、越前地区巡回」の運行ルート変更について

| | |
|------|--|
| | 資料に基づき、事務局説明 |
| 吉村委員 | メルシ前のバス停は国道側にしか出口がない。ルートを変えるとバス停から出て、裏に回らなければいけなくなる。バス停を改修して、駐車場側に出口を作るほうが、利便性がよくなる。 |
| 事務局 | 町としても、改修を予定しており、今回のルート改正が承認されたら、早急に対応したい。 |
| 採 決 | 承認 |

協議事項（３）コミュニティバス運行事業者の変更について

| | |
|------|---|
| | 資料に基づき、事務局説明 |
| 松田委員 | 京福バスは現在、路線バス運転手の１割が欠員状態。なんとかシフトで回している。運転手は運行ルートの地元から採用することが基本でそれができていない状況である。営業所があるエリアは事業継続に努めていくが、それ以外はそれぞれ地元の運行事業者をお願いできればと考えている。 |
| 議長 | 年内に運行事業者を決定しなければならないということだが、現在の進捗はどうか？ |
| 事務局 | １２月議会定例会で状況を説明したのち、事業者決定手続きを取る予定。 |
| 採 決 | 承認 |

●その他

| | |
|---------|--|
| 池田委員 | メルシ前のバス停の件で、除雪対策とバス路線確保のため誘導サインなどをしっかりしていただきたい。 |
| 事務局 | メルシ側と協議していく。 |
| 堤委員（代理） | 越前町は公共交通に関する意見が活発で意識が非常に高いと感じた。県も嶺北公共交通計画を策定しているところであり、今日聞いた意見を参考にさせていただく。 |